

No.	患者		1日投与量 投与期間	副作用	
	性・ 年齢	使用理由 (合併症)		経過及び処置	
1	男 40代	パーキンソン病 (なし)	0.8mg 50日間 ↓ 0.4mg 7日間	<p><b>突発的睡眠(自動車事故)</b></p> <p>投与開始日 本剤(塩酸タリペキソール)0.8mgをパーキンソン病に対して投与開始。なお、本剤投与203日前より塩酸プラミペキソール水和物3mgを投与。</p> <p>不明 自宅近くの電柱と自宅ガレージで、自家用車運転中車をぶつけている。いずれも低速で、外傷などなく、車が少しへこんだり、傷ついた程度であった。「後から考えると、一瞬意識が飛んだような感じで、ぶつけてから気がついた」とのこと。受診時に主治医への報告はなかった。</p> <p>投与48日目 約2週間睡眠不足が続き、前日も睡眠不足で、睡眠時間は4時間程度であった。なお、本剤0.8mgの処方があるが「本剤は飲んだり、飲まなかったりしているので、前日は服用しなかった」とのことであった。 起床時レボドパ・カルビドパ100mg、朝食後レボドパ・カルビドパ50mg、エンタカポン200mg、ペルゴリド250<math>\mu</math>g、塩酸プラミペキソール水和物0.5mgを内服し、車で出勤。 制限速度内で運転中(約40km/時)前を走っていた車が信号で減速したのまでは覚えているが、「一瞬眠ったように思う」。気がついてブレーキをかけたが間に合わず追突事故を起こした。自分には外傷などなかった。相手は「軽症のムチウチ症」であったとのこと。</p> <p>投与50日目 午前、当院受診。投与48日目の交通事故の報告が主治医にあった。同日より塩酸プラミペキソール水和物3mg/日→1.5mg/日、本剤0.8mg/日→0.4mg/日に減量。</p> <p>投与57日目 塩酸プラミペキソール水和物及び本剤を中止。 (投与中止日) 中止後、現在まで突発的睡眠、眠気は起こっていない。</p>	
併用薬: 塩酸プラミペキソール水和物, エンタカポン, ゾニサミド, クロナゼパム, ペルゴリド, アマンタジン塩酸塩, レボドパ・カルビドパ					